

# 愛媛県地震被害想定調査結果（最終報告）について

令和8年2月18日  
経営戦略部危機管理課

本年2月16日（月）に開かれた知事臨時記者会見で、愛媛県が平成25年に調査した地震被害想定（以下「H25想定」という。）に続く新たな地震被害想定（以下「新想定」という。）が公表されたので、その概要をお知らせします。

## 1 愛媛県地震被害想定調査とは

- 愛媛県地震被害想定調査は、南海トラフ巨大地震をはじめとする本県に大きな影響を及ぼす地震による人的被害や建物被害等を想定し、効果的な防災・減災対策を検討するために愛媛県が実施しているものである。
- 最終報告は、被害想定の前段となる自然現象の想定（地震動・液状化・土砂災害・津波）、それにより発生が予想される人的被害や建物被害等の被害想定を取りまとめたものである。

## 2 標記最終報告において取りまとめられている主な事項

No.	項目	備考
(1)	想定する地震及び地震動の想定	中間報告（R7.9.2）にて公表
(2)	液状化の想定	
(3)	土砂災害の想定	
(4)	津波の想定	
(5)	被害想定的前提条件	最終報告（R8.2.16）にて公表
(6)	被害想定	
	①建物被害	
	②人的被害	
	③ライフライン被害	
	④交通施設被害	
	⑤生活への影響	
	⑥その他の被害	
(7)	経済被害	
(8)	被災シナリオの作成	
(9)	防災・減災効果の評価	

### (1) -1 新想定において想定する地震 中間報告資料P5～P10参照

区分	備考
①南海トラフ巨大地震	-
②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（芸予地震）	・3ケースを想定
③中央構造線断層帯の地震	・政府の地震調査研究推進本部の長期評価見直し（2017年）に伴い、区間を3区間から5区間へ見直し ・発生の可能性は低いものの愛媛県に大きな被害をもたらすことが想定される3区間連動のケースを追加し、合計6ケースで想定を実施

### (1) -2 地震動（震度分布）の想定 中間報告資料P11、P12参照

- 地盤モデルについて、浅部地盤にあつては約1万本のボーリング調査を踏まえたも

のとなっており、H25想定と比べ精度は向上。深部地盤にあつては内閣府2025モデル（2015モデルと同じ）を使用した。

○ 地震動（震度分布）の想定

区分	想定				
①南海トラフ巨大地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大震度7となる市町が減少</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td><b>新想定</b></td> <td>H25想定</td> </tr> <tr> <td><b>4市町（宇和島市、新居浜市、西条市、四国中央市）</b></td> <td>13市町</td> </tr> </table>	<b>新想定</b>	H25想定	<b>4市町（宇和島市、新居浜市、西条市、四国中央市）</b>	13市町
	<b>新想定</b>	H25想定			
<b>4市町（宇和島市、新居浜市、西条市、四国中央市）</b>	13市町				
※ 前回調査からボーリングデータを増加させ、詳細な浅部地盤モデルを構築した結果、揺れにくい地盤の範囲が増加したことによる。					
②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（芸予地震）	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内で最大震度6弱を想定</li> </ul>				
③中央構造線断層帯の地震	<ul style="list-style-type: none"> <li>震源断層の直上付近で震度7や6強の強い揺れを想定</li> </ul>				

(2) 液状化危険度 **中間報告資料P13、P14参照**

地盤の沈下分布図を、新想定で初めて公表する。

(3) 土砂災害危険度 **中間報告資料P15～P17参照**

- 既存の調査結果（危険度ランク）がない箇所となる土砂災害警戒区域については、標高データを使用して区域内の斜面崩壊、地すべりの危険度を設定した。

(4) 津波想定 **中間報告資料P18～P22参照**

- H25想定と同様、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく最大クラスの津波（L2津波）を対象として想定した。
- 条件設定（R7国想定との違い）

新想定・H25想定	R7国想定
<ul style="list-style-type: none"> <li>盛土構造物は、地震により75%沈下（津波の越流により破堤）</li> <li>コンクリート構造物は、全壊する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>盛土、コンクリート構造物ともに沈下・破壊はしない。（津波の越流により破堤）</li> </ul>

- 新想定によると、燧灘の浸水面積が前回調査よりも微増しているが、その理由は「潮位の上昇が影響」していることによる。

○ 地震被害想定 比較

項目	(今回)	愛媛県	中央防災会議	中央防災会議	愛媛県	
	愛媛県※1 南海トラフ 巨大地震	愛媛県 (平成24年度)	中央防災会議 (令和7年度)	中央防災会議 (平成24年度)	愛媛県 (平成13年度)	
最大震度	震度7	震度7	震度7	震度7	震度6強	
最大津波高	3.4 m ※東予港	3.4 m ※東予港	4 m	4 m	—	
津波 到達時間	海面変動 ±20cm	1分未満※2	5分	不明	不明	—
	+1m※1	242分	222分	178分	不明	—
	最高津波高	460分	461分	不明	不明	—
浸水面積	1cm以上	3,392 ha	3,360 ha	2,030 ha	100 ha	—
	30cm以上	3,153 ha	3,145 ha	1,630 ha	100 ha	—
	1m以上	2,635 ha	2,649 ha	990 ha	90 ha	—
	2m以上	1,715 ha	1,741 ha	310 ha	70 ha	—

※1：津波水位から初期潮位を引いた波高が+1mになった時間

※2：代表地点における到達時間は5分（H24県想定と同時間）

(5) 被害想定的前提条件 **最終報告資料P12、P13参照**

(6) 被害想定（西条市） **最終報告資料P14～P16参照**

南海トラフ巨大地震が発生した場合に、市内で建物被害等が最大となる時間帯及び条件下における被害想定を記載している。

（※ 合計数値については、小数点以下の取扱により値が合わない場合がある。）

①建物被害 (冬18時、最大風速) 単位：棟

	年	揺れ	液状化	土砂災害	津波	火災焼失	合計
全壊棟数	新想定	17,070	1,627	78	3,353	1,519	23,647
	H25 想定	14,574	1,466	12	3,890	13,191	33,132
半壊棟数	新想定	16,356	6,361	127	7,660	-	30,503
	H25 想定	11,832	1,866	29	3,814	-	17,541

②人的被害 (冬3時、最大風速) 単位：人

	年	建物倒壊	うち屋内収容物	土砂災害	津波	火災	合計
死者	新想定	1,028	34	7	2,150	29	3,214
	H25 想定	826	47	1	2,592	230	3,648
負傷者	新想定	4,381	504	9	181	18	4,588
	H25 想定	5,179	700	1	82	121	5,383
要救助者	新想定	2,585			124		
	H25 想定	2,373			49		
要捜索者	新想定				2,274		
	H25 想定				2,674		

※今回県では初めて、災害関連死を想定し、本市では最大482人が死亡する想定。(県全体は3,602人)

③ライフライン被害 (冬18時、最大風速)

	上水道	下水道	電力	固定電話	LPガス	
(上段)	(断水人口)	(支障人口)	(停電軒数)	(不通回線)	容器転倒戸数	ガス漏洩戸数
(下段)	(断水率)	(支障率)	(停電率)	(不通率)		
新想定	49,858	53,306	62,445	35,072	1,120	795
	99.4%	86.4%	96.4%	96.8%	-	-
H25 想定	55,957	63,845	59,329	41,317	1,365	963
	99.8%	99.8%	99.8%	95.3%	-	-

※R8 想定 of 給水人口 50,163 人、下水道処理人口 61,727 人、電灯軒数 64,801 軒、復旧対象回線数 36,234

※断水率等は、小数点第2位を四捨五入して%表示している。

④交通施設被害 (冬18時、最大風速 単位：箇所)

	道路				鉄道	港湾	漁港
	橋梁	盛土・切土	その他斜面	計			
新想定	59	8	7	74	69	19	0
H25 想定				23	64	53	5

⑤-1 生活への影響

避難者	年	1日後	1週間後	1か月後
避難者人数	新想定	54,030	56,358	60,254
	H25 想定	54,448	54,757	76,145
うち避難所人数	新想定	34,161	35,862	18,076
	H25 想定	34,734	34,228	22,844
要配慮者数	新想定	8,839	9,279	4,677
	H25 想定	7,701	7,589	5,065

⑤-2 帰宅困難者

	通勤・通学 (県内)	通勤・通学 (県外)	計	滞留者
新想定	3,126	349	3,475	30,300
H25 想定			15,737	16,842

⑤-3 物資関係

		1～3日合計		4～7日合計		生活必需品
		食料(食)	飲料水(L)	食料(食)	飲料水(L)	毛布(枚)
物資必要量	新想定	369,962	593,165	506,206	659,325	68,323
物資不足量	H25 想定	259,664	225,157	495,917	497,704	68,003

※1日1人3食で計算

⑤-4 仮設住宅・仮設トイレ関係

	仮設住宅 必要世帯数	仮設トイレ必要量(基)		
		1日後	1週間後	1か月後
新想定	5,413 世帯	97	350	189
H25 想定	6,881 世帯	116	114	76

⑤-5 医療機能支障、介護福祉施設機能支障

(単位：人)

	病床不足数	外来不足数	入所系施設で転所 等が必要な人数	通所施設で転所等 が必要な人数
新想定	1,472	2,872	408	308
H25 想定	1,950	2,839	-	-

⑥ その他の被害

⑥-1 災害廃棄物等

	災害廃棄物 (万 t)	仮置き場必要面積 (ha)	津波堆積物
新想定	386	350	82
H25 想定	236	-	195

⑥-2 文化財被害

	施設数
新想定	1
H25 想定	0

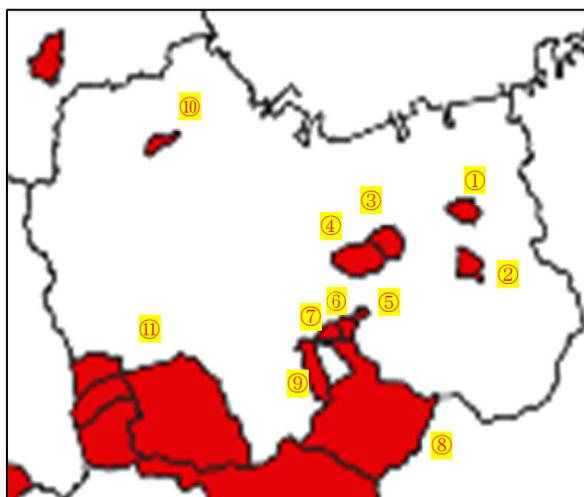
⑥-3 孤立集落

	孤立集落	
	県全体	西条市
新想定	420	11
H25 想定	268	10

※新想定では農業集落・漁業集落別の集計データなし

・新想定における孤立集落一覧

No.	集落名	地区名
①	市之川	市之川
②	藤之石上、下	加茂
③	兎之山	大保木
④	上の原、大畑、山崎、黒瀬山	
⑤	向	
⑥	浦	
⑦	細野	
⑧	本郷	石根
⑨	黒川	
⑩	広岡	
⑪	明河	桜樹



※集落の名称は農林水産省の「農林業センサス」及び「漁業センサス」に基づくもの

・孤立集落の想定に係る推計条件

県内の全集落から緊急輸送道路又は市役所・町役場・支所へアクセスするルート上の全ての斜面、液状化、橋梁の各箇所の想定震度等から集落の孤立を推計している。

人が居住していない集落（例：⑤「向」集落南側に面する「前田」集落等）については、今回の調査から除外されている。

⑥-4 ため池被害

（単位：箇所）

	危険度ランク A	危険度ランク B	危険度ランク C
新想定	25	80	35
H25 想定	68	56	31

※危険度ランク 高 A>B>C 低

⑥-5 漁業施設・農地被害

（漁船被害は単位：1 隻

他の被害は新想定は単位：ha, H25 想定は㎡）

	漁業施設被害		農地被害	
	養殖被害	漁船被害	液状化	津波浸水
新想定	0	0		127
H25 想定	4,318,236	377	58,058,419	20,065,914

※農地被害について、新想定では被害別のものは示されていない。

※H25 想定では液状化指数（PL 値）15 以上の農地の被害を表示している。

※1 ha = 10,000 ㎡

(7) 経済被害

直接経済被害額	新想定	H25 想定	前回比
	16.48 兆円	16.15 兆円	102%

※建物等の被害量は減少したが、建物の建設単価等の上昇により被害額が増加

※被害額は市町ごとの想定は無く、県全体での金額

3 県の今後の予定

最終報告の詳細データ及び周知用のリーフレット・啓発動画については、今年度内に県が公表予定としている。

#### 4 添付資料

- (1) 愛媛県地震被害想定調査結果 中間報告 資料
- (2) 愛媛県地震被害想定調査結果 最終報告 資料
- (3) 愛媛県地震被害想定調査結果 最終報告 想定結果一覧表 資料
- (4) 津波浸水2Dアニメーション

#### 5 参考

- (1) 愛媛県HP (<https://www.pref.ehime.jp/page/135020.html>)

以上